

生まれ変わる

熊本駅白川口

熊本駅周辺地域では、令和2年度中の完了を目指す白川口駅前広場をはじめ、多くの工事が熊本市やJR九州によって行われています。多くの方々と駅周辺地域の整備情報を共有することを目的とし、「Re make えきまえ」のなかで、工事の状況を紹介して参ります。「創刊号となる今回は、現在、白川口駅前広場で実施されている工事から、「使いやすい」というキーワードのもと紹介いたします。

“使いやすい”バスゾーン

Plan

白川口駅前広場では、現在、3つのバスのりばが離れた場所に配置されているため、利用者の方々から“分かりづらい”という声をいただいております。そこで、新しい駅前広場では、路線バスを広場内に集約し、方面毎に7つのバスのりばを配置することで、市域のサブターミナルとして分かりやすく、“使いやすい”バスゾーンを目指します。

新バスゾーンの工事は、昨年度から着手しており、ロータリーの駅舎側半分は将来の形となっています。現在、施工業者の飽南・光栄JVが実施する2期工事にて、残り半分の範囲を造成中です。12月の工事は、交通量の多い交差点部の工事がメインとなるため、先月に引き続き夜間作業となりますが、ご協力をお願いいたします。

Photo



バスゾーンの拡幅状況①

“使いやすい”歩行者動線

Plan

白川口駅前広場と森都心プラザ側を結ぶ歩道橋から、新しく集約するバスのりばへの“使いやすい”歩行者動線を確保するため、将来の動線計画に合わせて、階段の向きを変更する工事を行っています。

施工業者の親宏（株）にて行われる当該工事は、12月現在、階段躯体部分のコンクリート型枠が設置されているところです。

また、広場内の各のりばを快適に行き来できるよう、仮屋根を追加しました。

Photo



整備前の歩道橋階段



躯体部分のコンクリート型枠



追加設置された仮屋根



バスゾーンの拡幅状況②

もっと知りたい・データが見たい方はホームページへ！！

